

# 福島イノベーション・コースト構想の取組状況(交流人口の拡大・情報発信)

## 交流人口の拡大・情報発信

企業、大学教育機関等の視察及び研修の需要開拓及び地域住民と来訪者との交流機会の創出のため、視察ツアー等を実施するほか、今後、Pepper等を活用した相談窓口機能・案内業務などを実施予定。

また、15市町村を始めとした県内外の各種イベントでのブース出展、セミナー等の開催により、福島イノベーション・コースト構想の取組を発信。

### <ツアーや視察等での交流>

企業の代表等に、構想の拠点を始めとした関連施設や、周辺地域等を案内し、構想及び当該地域の理解促進を図る取組を実施。

#### ○企業、大学等による浜通り地域等の視察

8/1～8/3関西大学学生が中間貯蔵施設を始めとした拠点や、被災地の復興状況を視察した際、内堀知事を表敬訪問。



10/27～10/28関西学院大学学生がI社「問題」をテーマに楡葉町、富岡町等を視察。



11/9～11/10(一社)ディレクトフォースがJRとまとランドいわきファームを始め、当該地域を視察。



#### ○視察ツアー

企業を対象に構想における拠点施設等を巡り、地域の現状や構想への取組などについて視察するツアーを実施。

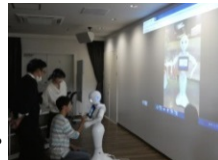


- (1日目) 胡蝶蘭栽培施設(葛尾村) ⇒ 川内村で昼食⇒J「イレッ」(楡葉町・広野町) ⇒ 楡葉遠隔技術開発センター(楡葉町) ⇒ 宿泊(広野町)
- (2日目) 夜ノ森地区(富岡町) ⇒ 大平山公園・請戸小・福島水素I社「研究フィールド」(浪江町) ⇒ 福島I社「テストフィールド」(南相馬市) ⇒ 相馬市松川浦で昼食⇒LNG基地・スマートコミュニティ(新地町) ⇒ 解散

### <「Pepper」の活用>

平成30年7月、県・機構・ソフトバンクで連携協定を締結し、県内に10台を設置予定。

地元の高校生がプログラミングしたPepperを構想の交流拠点に配置し、訪問者に向けた情報を発信。



あすびとユースによるプログラミング

### <情報発信>

#### ○地域イベントでのPR

15市町村で開催される祭りやイベントに出展。クイズを通じて構想の各取組を紹介。



かわまた絹市(川俣町) 富岡えびす講市(富岡町)

#### ○セミナー、シンポジウムの開催

##### イノベ見える化セミナー(平成30年11月25日)

約110名が参加



基調講演「ロボットと暮らす未来」

ロボットクリエイター 高橋 智隆氏

パネリスト「ロボット開発から見る身近な福島イノベーション・コースト構想」

パネリスト 株式会社東日本計算センター 鷲 弘樹氏

パネリスト 東洋システム株式会社 庄司 秀樹氏

モデレーター 株式会社イノベ高橋 智隆氏

コーディネーター 福島イノベーション・コースト構想推進機構 安栖 宏隆氏

※第2回は平成31年12月22日、第3回は平成31年2月23日に開催

##### 第2回福島イノベーション・コースト構想シンポジウム(平成30年3月25日)

約300名が参加



特別講演

電動化・知能化技術による「新しいまちづくり」への貢献

日産自動車株式会社副社長 坂本 秀行氏

株式会社舞台ファームの取り組み～福島沿岸地域の農業復興に向けて～

株式会社舞台ファーム 代表取締役 針生 信夫氏

ドローン人材育成から始まる地域産業の活性化

慶應義塾大学 政策・メディア研究科 特任助教 南 正樹氏

事例講演

ロボット、エネルギーなど分野毎に実施企業等から取組を紹介

※第3回は平成31年2月3日に開催